

事業名	愛宕山少年自然の家		
細事業名		財務コード	
担当部課室	福祉保健部	子育て支援課	担当(内線) 3158

## 事業の概要

実施期間	始期 H27 年度 ~ 終期 H30 年度		
実施主体	指定管理者(公益財団法人山梨県青少年協会)		
事業の目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	少年を	集団宿泊生活を通して、自律、共同などを体験的に学習させ	心身ともにたくましく育成
事業の内容 主にH28年度	愛宕山少年自然の家の利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 集団生活を体験させる宿泊等に関する業務 団体数 308団体 延べ利用者数 18,488人 野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務等 ・あたごやま自然たんけん隊 全4回 参加者93人 ・愛宕山クラブ 全7回 58人 ・防災キャンプ 10月24日～25日 参加者25人 ・ロボコンキャンプ 11月29日～30日 31人 ・フレンドシップスクール 参加者31人 ・愛宕山でクリスマス会 参加者28人 ・インターンシップ受入 1人 少年の健全な育成に関する自主事業 ・甲斐児わいわい紀行 参加者53人 ・感謝を伝える手作り陶芸 参加者88人 ・愛宕山音楽広場 参加者54人 ・自然の家ファミリーウィーク 参加者134人 ・あたごやまタイニーキャンプ 参加者28人 ・あたごやま親子陶芸教室 参加者164人 ・利用者支援事業		
	根拠法令等	社会教育法、山梨県立少年自然の家設置及び管理条例	

## 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	27年度		28年度		29年度	30年度	事業目標の考え方
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	開館日数	323	321	321	322	322	活動指標 目標設定の考え方 基本協定書別紙2仕様書に規定業務計画書 データの出典等 基本協定書別紙2仕様書に規定業務計画書
	開催事業数	15	14	14	14	14	
	活動指標達成率 (実績値/目標値)			%			
成果指標	延べ利用者数	18,228	20,254	18,488	20,659	21,072	成果指標 目標設定の考え方 前年度目標値の2%増 前年実績値の2%増 データの出典等 指定管理者モニタリングシート 事業報告書
	(うち事業参加者数)	856	835	788	739	754	
	稼働率	36.0%	40.9%	40.9%	41.7%	42.5%	
	成果指標達成率 (実績値/目標値)			%			
決算額又は予算額 (千円)	62,257		64,495	60,157	61,255	61,255	成果指標によらない成果
うち一財額	62,257		64,495	60,157	61,255	61,255	
所要時間(直接分)	時間		時間	時間	時間	時間	
所要時間(間接分)	時間		時間	時間	時間	時間	
所要時間計	時間		時間	時間	時間	時間	
人件費1st 単位:千円 (@2,145円×所要時間)							

## これまでの事業の見直し・改善状況

施設の利用促進に向け、平成24年度より、広報活動の充実、愛宕山子どもの国と連携するなどの魅力ある事業の企画、利用申込みの簡素化など運営方法の改善、日帰り利用の受け入れなどの取り組みを行っている。

## 活動量と成果の判断(平成28年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか (「活動指標の達成率」等から事業の活動量を判断)		
数値判定 H28年度 活動指標 の達成率	活動量に係る 一次評価	活動量に係る一次評価の考え方 数値判定と一次評価が異なる場合等に記載すること 目標どおり、321日開館しており、予定どおりの活動量がある、また、健全な少年の育成のための催しを、目標どおり14事業開催しており、予定どおりの活動量がある。
	b	

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)    b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)    c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)  
d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)

(2) 事業は意図した成果を上げているか (「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)		
数値判定 H28年度 成果指標 の達成率	成果に係る 一次評価	成果に係る一次評価の考え方 必ず記載すること 延べ利用人数は目標値20,254人に対し、実績値18,488人となり目標値を下回った。稼働率については、前年実績値の2%増を目標とし、目標どおりの実績となった。なお、延べ利用人数のうち、7,359人は少年以外の利用者となっており、設置当初とは利用形態が異なっている。
	b	

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)    b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)    c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)    d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)

## 見直しの必要性(平成30年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部局評価結果)		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	指定管理者である、(公財)山梨県青少年協会により適切な運営が行われており、少年の健全育成に寄与しているが、昭和48年の開設以来43年が経過し、施設(鉄骨鉄筋コンクリート造)の耐用年数の50年(平成35年)まであと7年となっており、雨漏り、外壁の剥落、配管の劣化など老朽化が著しい。また、少年以外の利用が多いことから本来の設置目的と異なる利用状況となっている。こうした状況から、老朽化や県立の同類3施設の利用状況、利用者需要の動向を踏まえ、今後の施設のあり方を検討する必要がある。	m

・「以外の判断項目」の欄  
a: 目的の達成    b: 新たな課題への対応    c: 対象の変化    d: ニーズの変化    e: 法律・制度の改正    f: 民間等実施    g: 市町村等へ移管    h: 外部委託  
i: 経費節減    j: 類似事業と統合・連携    k: 所要時間の縮減    l: プログラムの改善    m: その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価		
見直しの必要性	説 明	以外の判断項目
有	少子化の影響により、少年の利用が減少していく中で、当初の設置目的に沿わない利用実態となっている。また、開設以来43年が経過するなかで施設の老朽化が進み、大規模改修には多額の経費がかかることから、今年度末までに廃止を含めた施設のあり方を検討していく。	m

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする

## 見直しの方向(平成30年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等 「見直しの必要性」と「見直しの方向」が異なる場合は、その理由も記載すること
実施方法等の変更	愛宕山少年自然の家については、愛宕山施設の利用状況の詳細な調査や、建物診断などを実施した上で、利用者や学識経験者、建築の専門家等をメンバーとする検討会を設置し、愛宕山施設全体の課題への対応や、今後の方向性について意見をいただくこととする。これらを踏まえ、庁内で検討を進め、将来的な愛宕山全体のビジョンについて検討していく。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止(施設については「譲渡」)」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること  
・見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること

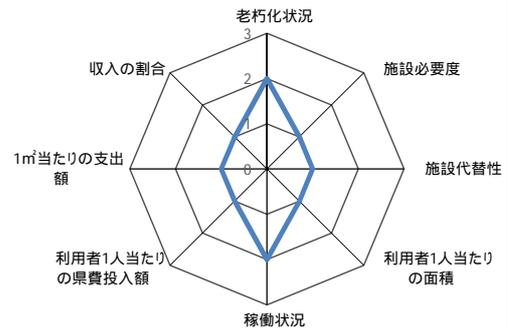
施設評価シート

基準日： H29.3.31

施設名	愛宕山少年自然の家			所管課室	子育て支援課		
大分類	県民利用施設	中分類	1文化・社会教育系施設	小分類	社会教育施設	施設番号	6

<分析・評価>

指標	指標の解説	評価
老朽化状況	経過年数 ÷ 目標使用年数(80年) 複数棟は主建物で算定 1:62.5%以上 2:37.5%以上62.5%未満 3:37.5%未満	2
施設必要度	評価検討シート・必要性該当項目 1:3項目以下 2:4~5項目 3:6項目以上又は設置義務	1
施設代替性	代替性の有無(当該施設がないと事業が実施できないか) 1:有 3:無	1
利用者1人当たりの面積	総延床面積 ÷ 利用者数 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	1
稼働状況	利用コマ数 ÷ 利用可能コマ数 1:40%未満 2:40%以上60%未満 3:60%以上	2
利用者1人当たりの県費投入額	収支差額 ÷ 年間利用人員 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	1
1㎡当たりの支出額	総支出 ÷ 総延床面積 1:上位3割(高) 2:中位4割 3:下位3割(低)	1
収入の割合	総収入 ÷ 総支出 1:30%未満 2:30%以上100%未満 3:100%以上	1



(注)各評価は相対評価であり、「1」であっても必ずしも悪いというわけではない。

項目	分析・評価(施設所管課)
施設の安全性の評価	昭和48年の開設以来43年が経過し、鉄骨鉄筋コンクリート造の耐用年数の50年(平成35年)まであと7年となっており、雨漏り、外壁の剥離、壁の亀裂、水回りの配管の劣化など老朽化が著しい 施設の安全性に直ちに問題はないものの、今後、継続して使用するためには大規模改修等が必要になる。 また、雨漏り等による建物躯体への影響によっては根本的な対応が必要となる可能性がある。 今後の老朽化対策への対応が、当該施設が直面している大きな課題である。
施設の必要性、事業の必要性等の評価	少年の健全育成に関する事業は、広く県民に実施することが必要であり、広域的な利用がなされる施設であることから、県が関与する必要がある。これまで施設目的に沿った事業の実施により少年の健全育成に一定の成果を上げてきており、今後も県が関与しながら継続して事業を実施していく必要がある。 一方、少子化に伴い施設の主な対象者である少年層の減少等により利用者は減傾向にあり、今後、少子化の更なる進展が見込まれる中、利用者需要への影響は大きいと言わざるを得ない。 当該施設を含めた県立の同類施設3施設の利用状況や今後の利用者需要の動向を踏まえ、県として少年育成施設の適正規模について勘案する中で、施設のあり方を検討する必要がある。
施設の有効性の評価	例年、約2万人程度の利用があり、利用者の満足度も高いことから事業効果も出ていると言えるが、施設稼働率は40%台という状況である。 施設の有効活用を図るため、施設の設置目的外の社会人の研修や、一般家庭の宿泊客等も受け入れているため、これらの利用者が約39.8%と最も多くなっている。 また、施設設置当初の事業の対象である、低学年児童(主に小学生)の利用は開設当初は約20%であったものが、H28年度では7.2%と大きく減少しており、当初の設置目的とは異なる利用形態となっている。
上記項目の分析・評価を踏まえた課題事項など特記事項	

<評価結果>

項目	評価																		
施設評価(所管部局等)	<p>今後の方向性</p> <p>分析・評価結果を踏まえた総合的な評価、課題事項に対する対応策など</p>																		
今後の施設方針(総務部等)	<p>&lt;評価分類&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>低</td> <td>中</td> <td>高</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">必要性・利用状況 (ソフト)</td> <td>高</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">施設の性能(ハード)</td> </tr> </table> <p>(注)分類は相対的なものであり、「低」であっても必ずしも施設が不要というわけではない。</p>		低	中	高	必要性・利用状況 (ソフト)	高			中			低			施設の性能(ハード)			
	低	中	高																
必要性・利用状況 (ソフト)	高																		
	中																		
	低																		
施設の性能(ハード)																			

施設評価シート(検討シート)

基準日: H29.3.31

施設名	愛宕山少年自然の家			所管課	子育て支援課		
大分類	県民利用施設	中分類	1文化・社会教育系施設	小分類	社会教育施設	施設番号	6

< 評価項目関係指標 >

築年数	築43年	次期更新予定年度	2053年	指定管理導入		指定管理料	62,821千円
延床面積	2,663㎡	うち執務室面積	96㎡	うち会議室面積	-	うち貸室面積	345㎡
年間利用者数	18,488人	施設稼働率	40.9%	類似施設の有無		近隣施設の有無	
職員数	11人	うち指定管理職員数	11人	年間経費	64,495千円	年間収入	0千円
残使用年数	37年	更新費用概算	639百万円	更新までの保全費用	-	保全費用概算(50年間)	1,178百万円
利用者1人当たり県費	3,488.5円	1㎡当たり利用者数	6.9人	職員1人当たり執務室面積	8.7㎡	職員1人当たり会議室面積	-
未利用施設の有無	-	1㎡当たり支出額	24,217.1円	収入割合	0.0%		

< 過去の検討状況等 >

項目	内容
過去10年間に於ける部局内でのあり方検討、行政評価アドバイザーによる外部評価の概要、また、文化財指定など特別な事情等の概要	平成23年度にアドバイザー評価の対象施設となり、要改善の評価を受けている。 評価の概要と検討結果は次のとおり 小学校低学年の利用が少なく、大学生や専門学校生の利用が多いことから、「少年自然の家」という事業区分をゼロベースで見直し、施設の活用策を研究すべき。 都市近郊型である愛宕山少年自然の家のニーズは高いこと、施設の改修や、駐車スペースの増設などを行わない場合は大幅な利用者の増加が期待できないことから施設目的及び対象者の変更は行わないこととした。 所管課をハヶ岳少年自然の家と同様に社会教育課とすべき。 児童厚生施設である愛宕山こどもの国の敷地の一部に少年自然の家が立地していることから各施設が有機的に連携する体制の整備を図ることを前提とし、所管課は現行どおり(子育て支援課)とした。
他都道府県における同種・類似施設の設置状況	

< 評価検討項目 >

書ききれない場合は、行の高さを適宜調整すること(行の挿入はしない)

評価項目		該当の有無	評価内容
安全性	施設の老朽化度は問題ないレベルか(築年数及び施設の状態)		昭和48年の開設以来43年が経過しており、雨漏り、外壁の剥離、壁の亀裂、水回りの配管の劣化など老朽化が著しく、安全性に直ちに問題はないものの、今後、継続して使用するためには大規模改修等が必要になる。
	施設は耐震性を有しているか		平成13年に耐震工事を実施。(工事実施後のIs値0.7)
	施設の点検は適切に実施されているか		指定管理者が業務計画通り適正に点検を実施している。 建物、施設設備の点検は毎日巡回により実施、法定点検は法で決められた回数を実施しており、点検結果については愛宕山少年自然の家事務所内に保管している。
	施設の修繕・改修等は適切に実施されているか		指定管理者である(公財)青少年協会が管理業務の中で適切に修繕を行っているが、建物の老朽化に伴う雨漏り等の課題への対応については、大規模改修等が必要である。また、雨漏り等による建物躯体への影響によっては根本的な対応が必要となる可能性がある。
	その他特記事項	-	
必要性	法律上、設置義務がある施設か(根拠法令、内容)		社会教育法に基づく社会教育施設に位置づけられている。 社会教育法抜粋 第三条 国及び地方公共団体は、この法律及び他の法令の定めるところにより、社会教育の奨励に必要な施設の設置及び運営、集会の開催、資料の作製、頒布その他の方法により、すべての国民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら實際生活に即する文化的教養を高め得るような環境を醸成するように努めなければならない。
	法律上、実施義務がある事業か(根拠法令、内容)		社会教育法に基づき、恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自律、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ心身ともにたくましい少年を育成するための事業を実施。
	設置目的に即した事業が実施されているか		豊かな自然環境の中で、少年への集団宿泊生活の場や、自然観察の機会の提供などを行っている。 また、指定管理者である(公財)山梨県青少年協会の主催事業などで、自然観察や避難生活を体験する防災キャンプ、障害を持つ子どもとの交流会などを実施しており、設置目的に即した事業を行っている。
	当該施設でなければならない事業か	×	山梨県立少年自然の家としては、愛宕山少年自然の家のほかハヶ岳少年自然の家があり、利用状況等の検討が前提であるが、体験宿泊事業の提供は行われている。
	県が関与しなければならない事業か		施設の設置目的である少年の健全育成に関する事業は、広く県民に実施することが必要であり、広域的な利用がなされる施設であることから、県が関与する必要がある。

## 施設評価シート(検討シート)

基準日: H29.3.31

施設名	愛宕山少年自然の家		所管課	子育て支援課	
大分類	県民利用施設	中分類	1文化・社会教育系施設	小分類	社会教育施設
				施設番号	6

	県内に同類の機能の施設がないか	×	八ヶ岳少年自然の家(定員210人)、ゆずりはら青少年自然の里(定員100人)が同類の施設。
	設置目的は達成していないか		少年の健全育成に関する事業は引き続き実施していく必要があるが、今後の少子化の進展等による利用者需要の動向を考慮する必要はある。
	今後の人口動向、社会構造及び社会情勢の変化に伴う利用者需要に変化はないか	×	「日本の地域別将来推計人口」(H25.3)によると、本県の0-14歳人口は、H27年では103千人、H37では82千人、20年後のH47年では69千人となるとされており、少子化の進展に伴い施設の設置目的の対象者である少年の数は大幅な減少が見込まれており、利用者需要に大きな影響が出ると言わざるを得ない。
	新たなニーズが発生しているか(新たなニーズと対応状況)	×	新たなニーズは発生していない。
	廃止・統合等の場合、補助金返還が発生するか	×	利益が生じない財産処分については10年経過したものについては報告のみで足りるとされているため、補助金返還は生じない。
	施設がない場合、どのような対応が可能か(どのように事業を実施するか)	-	同類の施設である、八ヶ岳少年自然の家(近年の施設稼働率は40%台)等における利用が可能かを検討する必要がある。
	その他特記事項	-	
有効性	施設の規模は適正か(過大または過小でないか)	×	施設稼働率は40.9%となっており、施設規模は需要を上回っている。また、近年の少子化により小グループ単位での利用が多く、1部屋あたり10人の規模もやや過大であると言える。
	貸施設の稼働状況(稼働率60%以上:、40%以上60%未満:、40%未満:×)		H28施設稼働率は40.9%
	利用が少ない施設・部屋、時間帯、曜日、時期はないか		立地場所等からやむを得ないが、冬期(12月~2月)の稼働率は20%以下であり、低調、また、学校行事が多い10月も28%と低調となっている。
	事業効果の把握が適切に行われているか		設置目的に沿った事業を実施しており、利用者満足度調査(H28:1,595人)を実施することで利用者の事業に対する満足度、ニーズの把握を行っている。
	事業の効果が出ているか		事業に対する利用者満足度調査ではおおむね高い評価を得ており、利用者に対する事業効果は出ていると言えるが、稼働率(40.9%)や利用形態を考慮すると施設規模に見合った効果が出ているとは言い切れない。
	特定の団体が占有していないか		特定の団体の占有はない。
	広く県民に利用されているか、利用者の属性		県内の小中高校や少年団体、その他の利用者など幅広く利用されていると言えるが、施設の有効活用を図るため、施設の設置目的外の社会人の研修や、一般家庭の宿泊客等も受け入れているため、これらの利用者が約39.8%と最も多くなっている。一方で施設設置当時の事業対象である、小学生の利用は7.2%と低い状況であり、当初の設置目的とは異なる利用形態となっている。
	未利用施設・部屋はないか		現在利用していない施設はない。
	他施設(機能)の統合(複合化・集約化)は困難か	×	八ヶ岳少年自然の家、ゆずりはら青少年自然の里が同種の施設であり、利用調整の検討が前提であるが、宿泊体験事業の提供は行われている3施設において集約化の検討は可能であると考えられる。
	年間の運営コストは適正か(改善点はないか)		延べ床面積2,663.2㎡と大規模な施設であるが、指定管理者の努力により指定管理委託費の範囲内で使用可能な状態に保たれており運営コストは概ね適正と言えるが、今後の老朽化対策には多額の経費を要すると考えられ、その場合の予算確保が課題である。
その他特記事項	-		

該当の有無: 該当:、概ね該当:、非該当:×

## 施設カルテ

### 1 施設概要

基準日: H29.3.31

施設名	愛宕山少年自然の家			所管課	社会教育課(子育て支援課)		
大分類	県民利用施設	中分類	1文化・社会教育系施設	小分類	社会教育施設	施設番号	6
設置年月日	昭和48年8月9日	建築年月日	昭和48年6月6日	(築43年)	改築年月日	-	
所在地	甲府市愛宕山358 - 1						
設置根拠法律	社会教育法			設置根拠条例等	山梨県立少年自然の家設置及び管理条例		
敷地面積	45,400.00㎡	借地面積	45,400.00㎡	借地元	恩賜県有財産	借地契約満了日	平成42年3月31日
財産区分	行政財産	施設形態	単独	耐用年数 (目標使用年数)	80年	次期更新予定年度	2053年
建物規模	鉄筋コンクリート造(RC) 地上2階 地下2階			駐車場台数	36台	建築面積	747.18㎡
延床面積	2,663.20㎡	うち執務室面積	96.00㎡	うち会議室面積	-	うち貸室面積	345.00㎡
建設費	230百万円	地方債残高	-	償還(年/年)	-	改修・修繕履歴の有無	有
設置目的	恵まれた自然の中で少年の豊かな情報を養うとともに、集団宿泊生活を通して自立、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ、心身ともにたくましい少年を育成する。						
主な施設内容 (定員、部屋数等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地下2階 大ホール(144㎡)</li> <li>・地下1階 工作室(78㎡) 第一研修室(74㎡) 第二研修室(67㎡)</li> <li>・地上1階 食堂(156㎡) 利用者入口 男女浴室</li> <li>・地上2階 宿泊室15部屋 定員各10人 事務室(9㎡)</li> </ul>						
主な業務内容・実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用の承認に関する業務</li> <li>・施設及び設備器具の維持保全に関する業務</li> <li>・集団生活を体験させる集団宿泊訓練に関する業務</li> <li>・野外観察、自然探求その他の自然に親しませる学習活動に関する業務</li> <li>・体育、レクリエーション及び野外活動に関する業務</li> </ul>						
管理運営形態	指定管理	指定管理者	公益財団法人山梨県青少年協会		利用料金制の有無	有	
利用料金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内に所在する幼稚園、保育所、小学校、中学校及びこれらに類する施設並びに青少年育成団体が行う行事で利用する場合 1人1泊 館内宿泊料100円、キャンプに要するテント及び寝具等の利用料金80円</li> <li>・県内に住所を有する3歳以上の幼児、小学生、中学生及び高校生が利用する場合(一に掲げる場合を除く。) 1人1泊 館内宿泊料210円、キャンプに要するテント及び寝具等の利用料金160円</li> <li>・1及び2に掲げる場合並びに3歳未満の者に係る利用の場合を除く利用の場合 1人1泊 館内宿泊料320円、キャンプに要するテント及び寝具等の利用料金320円</li> </ul>						
開館日数	323日	利用時間	8:30 ~ 17:00		休業日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月曜日</li> <li>・休日の翌日</li> <li>・12月29日から翌年1月3日</li> </ul>	
主な利用者	自然教室、林間学校、合宿などの活動を行う学校・青少年育成団体・スポーツ少年団等						
年間利用者数	18,488人	施設稼働率	40.9%	職員数	11人	うち指定管理職員数	11人
年間経費	64,495千円	うち指定管理料	62,821千円	年間収入	0千円	未利用施設の有無	無
残使用年数	37年	更新費用概算	639百万円	更新までの保全費用	-	保全費用概算(50年間)	1,178百万円
目的外使用・貸付等	-						
類似施設	山梨県立八ヶ岳少年自然の家 山梨県立ゆずりはら青少年自然の里			近隣施設	県立愛宕山こどもの国 県立科学館		

: BIMMSによる概算



施設名	愛宕山少年自然の家
-----	-----------

4 建物部位・設備情報(長寿命化対象建築物)

建物名称	区分	種別	内容	有無	仕様等	未使用状況	点検実施の有無	修繕等履歴の有無	修繕等の内容	修繕等年度	予算額(千円)		
愛宕山少年自然の家	建築	屋根	屋根防水+押さえコン	アスファルト防水									
			シート系防水			補強布張り W=100m/m			○	玄関上スロープ防水工事	22	4,090	
			屋根長尺金属板	金属板葺き									
			その他	スレート・かわら他									
	建築	外壁	壁-タイル			コンクリート打放し							
			外壁仕上塗材	複層仕上塗材、塗装壁他									
			外部天井										
			シーリング						○	○	外壁コーキング	27	199
	建築	建具	外部建具	外部アルミ建具、外部鋼製建具		-		○	○	庇撤去工事	22	500	
			内部建具	内部鋼製建具、木製建具		-		○	○	カーテンレール取り換え	26	292	
			自動扉	ステンレス製自動両開扉									
			ステンレス製建具	ステンレス製建具、鋼製シャッター		-							
	建築	内部	内部仕上等	床仕上げ、壁仕上げ、天井仕上げ、内部雑物		-		○	○	第2研修室天井石綿除去 宿泊室網戸取替 屋内床補修 食堂天井雨漏り補修	22 23 26 27	3171 198 109 199	
			受変電	高圧	高圧受変電		設備容量 1,450kVA 受電電圧 6,600V		○				
			発電・静止系電源	非常用発電	自家発電装置、ディーゼル機関等		発電容量 125kVA・29kVA 発電電圧 200V		○				
				交流無停電電源	無停電電源装置								
	太陽光発電												
	電気設備	電力	電力	配管配線等		-		○					
			電線類	配線		-		○					
			制御盤、分電盤、OA盤			-		○					
蛍光灯他			FL電球、Hf電球、LED		-		○						
			非常灯		-		○						
			誘導灯		-		○						
通信・情報	LAN、電話、表示、映像、防犯等	電話交換機			機種名 Office Stage ISDNをアナログ2回線に変換		○	○	バックアップ用蓄電池取り換え	24	78		
		情報・出退表示装置											
		放送(アンプ)			TOA FS-971		○						
		時計設備						○					
通信・情報(防災)	自動火災報知			能美防災 受第9-123号 FAP129A 1998年製		○							
機械設備	空調設備	温熱源	ボイラー		無圧開放型 出力 300000Kcal 出湯量6000l/h		○	○	暖房用ボイラー修理 安全弁取り替 バーナー修理 地下貯蔵タンク内側コーティング	18 21 21 25	88 147 91 1700		
		冷熱源	吸収式冷温水機、冷凍機、冷却塔		水冷式チラーユニット 355kW 冷却塔 冷却能力566.9kW		○	○	チラーユニット修理 冷却塔修理	23 27	48 642		
		空調調和機	パッケージ型、ユニット型、FCU				○	○	食堂・研修室エアコンファンコイルユニット取り換え 宿泊室冷暖房用空調部品取替	22 25	772 485		
		空調調和機(出力22kW以下)	ヒートポンプマルチパッケージ型空調機		空冷ヒートポンプエアコン屋外機 冷房10.0kW 暖房11.2kW 空冷ヒートポンプエアコン室内機 冷房5.0kW 暖房5.06kW		○						
	空調調和機(出力22kW超)	ヒートポンプマルチパッケージ型空調機 全室空調											
	全熱交換器、空気清浄装置												
	ポンプ、タンク、ダクト、配管			冷却水循環ポンプ 冷温水循環ポンプ		○	○	冷却水循環ポンプ修理	21	46			
	換気設備	換気設備	送風機・ダクト		-								
	自動制御設備	自動制御											
	給排水設備	給排水	ポンプ、タンク、排水等		受水槽 FRP製 30m <sup>3</sup> 副受水槽 FRP製 4m <sup>3</sup> 揚水ポンプ 2台 給水管 硬質ビニール・鋼管		○	○	食堂手洗い給水管改修工事 給湯管改修工事	24 28	168 1674		
	衛生設備	衛生器具他	トイレ浴室		男性 小便器22台、大便器10台 女性 和便器15台、洋便器2台 車椅子対応 3台 浴室・男女 シャワー各10台		○	○	トイレ配管改修工事 トイレ洋便器設置工事 和便器漏水修理 浴室タイル補修	19 22 25 26	388 724 178 78		
	消火設備	消火設備一式	屋内消火栓、スプリンクラー 屋外消火栓等		ポンプ 日立 GMN-CH 電動機 日立 EFOUP		○	○	消火配管改修工事 消火栓用配管漏水修理	22 26	728 194		
昇降機その他	エレベーター												
その他	舞台装置	体育館											

施設名	愛宕山少年自然の家
-----	-----------

### 5 運営状況(施設利用者数)

区分	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
小学校	1,371	1,240	1,370	1,339	
中学校	5,802	5,675	5,323	5,198	
高等学校	1,548	1,752	1,283	1,347	
少年団体	3,609	3,575	2,938	3,245	
その他	7,033	6,823	7,314	7,359	
合計	19,363	19,065	18,228	18,488	0
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

### 6 利用状況(施設稼働率)

施設稼働率	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
全体	36.6%	38.9%	36.0%	40.9%	
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

### 7 利用者満足度(施設全般の満足度)

利用者満足度	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
「満足」「どちらかといえば満足」の割合	86.3%	89.9%	100.0%	100.0%	
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

### 8 収支状況(全体)

区分	実績				
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入の合計	0	0	0	0	0
支出の合計	58,992,350	61,742,000	62,257,000	64,495,000	0
収支差額( - )	58,992,350	61,742,000	62,257,000	64,495,000	0
年間利用人員 (人)	19,363	19,065	18,228	18,488	0
利用者一人当たりの県費投入額(( - ) ÷ 2)	3,047	3,238	3,415	3,488	#DIV/0!
特記事項	(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

施設名	愛宕山少年自然の家
-----	-----------

9 収支状況(指定管理者)

区分		実績				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収入	施設利用料	2,377,560	2,478,190	2,350,630	2,331,830	
	指定管理委託料	56,807,000	61,742,000	62,257,000	62,821,000	
	その他	834,451	1,015,053	421,379	373,465	
	収入合計(A)	60,019,011	65,235,243	65,029,009	65,526,295	0
支出	人件費	33,627,438	31,373,982	32,406,434	31,504,477	
	県への納付金	0	0	0	0	
	管理運営費	29,325,066	33,106,312	29,708,673	27,390,209	
	うち外部委託費(B)	6,244,862	7,361,232	6,888,457	7,990,587	
	支出合計(C)	62,952,504	64,480,294	62,115,107	58,894,686	0
収支差額(A-C)		2,933,493	754,949	2,913,902	6,631,609	0
外部委託比率(B÷C)		9.9%	11.4%	11.1%	13.6%	
特記事項		(実績値に大幅な増減がある場合、または、補足説明が必要な場合は、その内容を記載)				

< 關係資料 >

1 管理運営経費

(1) 収入

項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
行政財産使用料	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0

(2) 支出

項 目	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
報酬					
給料					
職員手当等					
共済費					
賃金					
報償費					
旅費					
需用費	2,185,350				
役務費					
委託料	56,807,000	61,742,000	62,257,000	62,821,000	
使賃料					
工事請負費				1,674,000	
備品購入費					
補助金等					
扶助費					
公課費					
合計	58,992,350	61,742,000	62,257,000	64,495,000	0

## 2 利用状況

### (1) 利用状況(施設稼働率)

算出方法	(平成28年度) 利用部屋稼働率 = 宿泊部屋数 / 最大受入可能部屋数 (宿泊可能日 × 部屋数)					
部屋名称	宿泊可能日	最大受入可能部屋数	宿泊部屋数	午後	夜間	合計
宿泊室	290日	4,640	1,898			40.9%
全体	290日	4,640	1,898			40.9%

### (2) 利用者満足度

実施時期・実施方法	調査項目 実施時期:平成28年4月～平成29年3月 実施方法:利用者へのアンケート 対象:1,358人 対象:237人					
項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満		
施設・設備の状況	69.9%	27.7%	1.9%	0.5%		
職員の対応(受付・接客)	86.7%	12.3%	1.0%	0.0%		
事業内容	74.1%	23.8%	1.6%	0.5%		
食堂の内容	78.3%	19.1%	1.8%	0.8%		
施設全般の満足度	82.9%	17.1%	0.0%	0.0%		
各項目の平均	78.4%	20.0%	1.3%	0.4%	#DIV/0!	#DIV/0!
結果分析	・対応やサービス面など概ね高い評価を得ているが、今後は食事などについて職員と食堂運業者とで検討を行い、更なるサービスの向上に努め、引き続き利用者の満足向上に向けて取り組んでいく。					

### 3 組織図等(指定管理者)

組織図、職別、正規・非常勤別・合計人数が分かるように記載

(平成28年度)



所長	1人
一般職員	4人
契約職員	6人
合計	11人

#### 4 施設の利用状況

利用人数のほか、施設の利用状況、活用状況等が分かる事項を記載

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
利用者数	施設利用者数	18,924	18,123	17,372	17,700
	事業参加者数	439	942	856	788
	利用者数合計	19,363	19,065	18,228	18,488
利用率	稼働率等(利用率)	38.6%	38.9%	36.0%	40.9%
	稼働率等(利用率) の算定方法	利用部屋数 / 宿泊可能部屋数			

## 愛宕山少年自然の家 施設設立の経緯と現状等について

### 設立の経緯

山梨県立愛宕山少年自然の家は少年たちを自然に親しませ、野外活動や集団宿泊生活を通して、自律・協同・友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ、豊かな情操や社会性の涵養を図り、健康でたくましく、夢を持った少年の育成を図ることを目的に、昭和48年6月に愛宕山広域公園内に設置された。

平成18年からは多様化するニーズにより効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度を導入している。

### 現状について

#### 1 利用状況

愛宕山少年自然の家は昭和48年の設置から43年が経過し、その間少子化が進展し、価値観も多様化する中で、施設を取り巻く環境は大きく変化している。

利用者の状況は平成20年度の24,076人をピークに減少しており、平成28年度の利用者は18,488人となっている。

利用者の減少に伴い管理委託費に対する利用者一人当たりの経費についても、平成20年度が2,333円であったものが、平成28年度では3,488円と増加している。

平成28年度の利用状況（延べ人数）を階層別に見ると、小学校の利用が一番少なく1,339人、次いで高校生1,347人、少年団体3,245人、中学生5,198人、その他が7,359人となっており、施設の設置目的の少年以外の利用が約40%となっている。

#### 2 施設の状況

施設の耐用年数である50年まであと7年となっており、雨漏り、外壁の剥落、配管の劣化など、修繕では対応しきれない施設本体の劣化が進んでおり、今後施設を安全に使用するには大規模な改修等が必要な状況である。

### 将来的なビジョン

設置から43年が経過し、老朽化や少子化の進展により当初の設置目的とは異なる利用状況となっているなど、施設を取り巻く環境は変化しており、八ヶ岳少年自然の家やゆずりはら青少年自然の里などの同類の施設の利用状況、利用者需要の動向を踏まえ、今後の施設のあり方を検討する必要がある。

## 愛宕山少年自然の家 主な事業の実施状況一覧

### 主催事業

事業名	事業内容	実施状況
あたごやま自然たんけん隊	愛宕山の四季の観察から自然環境や野生動物・植物に見られる多様性とその重要性を学習し、環境に対する意識の向上を目指す。  募集定員 120人40家族程度	年間を通して、四季折々の愛宕山自然観察会を行った。 実施日：4月24日、7月9日～10日(1泊)、9月24日～25日(1泊)、2月5日(全4回)  参加人員 93人
愛宕山クラブ	愛宕山こどもの国敷地内等を主な活動フィールドとし、自然や科学について継続的に観察・学習を行うことでそれらの理解を深める。  募集定員 20人(100人)	年間を通じたクラブ形式により、植物の生態を学ぶ。「めざせ！プラントマスター！」というテーマでの活動を実施した。 実施日：6月～3月(全5回)  参加人員 58人
防災キャンプ	避難所生活を体験し、災害時の心得や防災についての基本的な知識の習得を目指す。  募集定員 30人10家族程度	家族で仮想避難所生活をし、災害時の備えなどについて学んでもらった。 実施日：10月15日～16日(1泊)  参加人員 25人
ロボコンキャンプ	LEGOブロックとマインドストーム(ロボット)を用い、パソコンでプログラムを作成する。命令(プログラム)をマインドストーム(ロボット)に送り、LEGOブロックを動力として、ミッションをクリアする。問題解決の方法を、プログラミングとものづくりを通して学ぶ。  募集定員 30人	自然の家に宿泊して参加者の交流を図ると共に、グループごとオリジナルロボットを作り、コンテストを行った。 実施日：11月23日～24日(1泊)  参加人員 31人
フレンドシップスクール	健全者および障害者とその家族が、さまざまな体験をともに行い交流することで、健全者は障害に対する理解を深め、障害者は普段の生活では得られない経験を得る機会とする。  募集定員 親子30人程度	障害を持つ子供と健全者を対象に、野外炊事や自然観察、交流会を実施した。 実施日：9月17日  参加人員 31人
あたごやまでクリスマス会	クリスマス会の会場づくりやツリーの飾り付け、班ごとでのケーキ作りを通して、仲間と協力しながら集団宿泊生活を体験する場を与える。  募集定員 30人	班ごとに、クリスマス会の会場作り、ケーキ作りを行い、交流を深め、クリスマス会の際には、英和高校の先生にクリスマスについての話をしてもらった。 実施日：12月10日～11日(1泊)  参加人員 28人
職場体験・インターンシップ 受入	自然の家・こどもの国での実習をとおし、青少年の健全育成に対する理解を深める。  募集定員 15人程度	青少年の健全育成に対する理解を深めるとともに、教育事業や日常の研修支援などの業務を体験してもらった。  参加人員 1人

## 愛宕山少年自然の家 主な事業の実施状況一覧

### 自主事業

事業名	事業内容	実施状況
愛宕山音楽広場	普段よりアコースティック楽器を演奏している者の発表の場として愛宕山少年自然の家、劇場広場を会場として演奏をしよう。	アコースティック楽器の演奏者による発表の場を提供し、演奏者や観覧者同士の交流を深めてもらった。 実施日：10月2日  参加人員 54人
感謝を伝える手作り陶芸	祖父母に対し、敬意感謝の気持ちを伝えるため、敬老の日に向けて陶芸のプレゼントを作成する。  募集定員 10組30人(90人程度)	祖父母へのプレゼントとして陶芸を贈れるように、親子を対象に陶芸作りを行った。敬老の日には、作った陶芸をプレゼントし、3世代でオリエンテーリングを楽しんでもらった。 実施日：7月30日(成形)、8月27日(釉薬付け)、9月19日(引渡し、オリエンテーリング)  参加人数 88人
あたごやまタイニーキャンプ	小学生低学年の子どもたちが、共同生活や自然体験を通して、自分に自信をつけ仲間と協調性を育むきっかけづくりをする。  募集定員 30人	小学校1・2年生の、ぼぼ初めての外泊をする子どもを対象とし、親元を離れて、他の友達と共同生活をするにより、自信をつけると共に、協調性を育んだ。 実施日：11月12日～13日(1泊)  参加人数 28人
あたごやま親子陶芸教室	初心者の親子や一般の方を対象に、日常生活で使えるもの及び四季にあったカップや器を制作し、基本的な陶芸の知識や技術を身につけながら、作る楽しさや喜びを感じてもらう。  募集定員 90人(180人)	初心者の親子や一般の方を対象に、基本的な陶芸の知識や技術を身につけながら、作る楽しさや喜びを感じてもらった。 実施日：11月～2月(全3回×2)  参加人員 164人
自然の家ファミリーウィーク	冬の愛宕山自然の家に宿泊して、家族やグループ等に自然の家への理解を深め、自然体験などを通して、少年自然の家の特色を生かした活動を体験してもらう。  募集定員 15家族(90人)	冬の愛宕山自然の家に宿泊して、星空観察やナイトハイク、ネイチャー工作、家族対抗オリエンテーリング等を行い、自然の家への理解を深めてもらった。 実施日：10月8日～10日 1月7日～9日 上記期間中の1泊又は2泊  参加人員 27家族134人
利用者支援	自然の家を利用する団体や一般の方に活動プログラムの体験等について実習を交えて学んでもらい、プログラムの面白さや職員が持つ専門性、知識、技術について学び指導者としての資質の向上を図る。	       参加人数 0人
甲斐見わいわい紀行	小学校高学年の子どもたちが、長期にわたる共同生活の中で、日常生活では体験できない様々な活動とおして、仲間と協力しながら取り組むことで主体性を育むとともに、信頼、協力、協調、規律などの意味を実感し、身につける。  募集定員 60人	日常生活では体験出来ない、長期生活の中での仲間と協力し合う諸活動とおして、主体性を育ませた。 実施日：8月16日～20日(4泊) この内、愛宕山での活動は8月16日～17日(1泊)  参加人員 53人

平成 28 年度

愛宕山少年自然の家利用状況

上段:団体数 中段:実利用者数 下段:延べ利用者数

区分		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
小学校	28年度	0	3	9	2	1	1	1	0	0	0	0	0	17
		0	98	375	9	31	77	103	0	0	0	0	0	693
		0	196	656	65	62	154	206	0	0	0	0	0	1,339
	27年度	0	1	6	1	0	2	1	1	0	0	0	0	12
		0	12	322	74	0	226	99	26	0	0	0	0	759
		0	24	575	174	0	347	198	52	0	0	0	0	1,370
中学校	28年度	4	16	4	4	1	2	0	1	0	1	0	2	35
		378	1,490	239	354	15	115	0	16	0	101	0	41	2,749
		756	2,922	508	489	30	188	0	32	0	202	0	71	5,198
	27年度	6	14	5	6	2	2	3	1	2	1	1	0	43
		385	1,244	265	476	53	34	96	24	78	136	10	0	2,801
		770	2,488	491	712	106	68	192	48	156	272	20	0	5,323
高等学校	28年度	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	9	15
		70	78	174	19	0	0	0	0	0	0	23	462	826
		140	117	263	38	0	0	0	0	0	0	46	743	1,347
	27年度	0	0	0	1	2	0	1	1	1	1	0	4	11
		0	0	0	9	90	0	162	23	15	47	0	447	793
		0	0	0	18	180	0	243	46	30	94	0	672	1,283
少年団体	28年度	2	0	3	5	15	4	4	9	4	3	1	10	60
		29	0	43	146	640	63	125	229	154	65	5	234	1,733
		97	0	86	279	1,090	126	250	458	308	130	10	411	3,245
	27年度	0	3	2	1	18	3	3	4	2	1	1	8	46
		0	124	38	65	841	77	38	126	61	21	16	231	1,638
		0	180	76	130	1,445	154	76	252	122	42	32	429	2,938
その他	28年度	27	14	7	22	45	16	11	5	6	4	7	17	181
		509	326	91	531	1,085	366	187	207	143	24	209	460	4,138
		875	574	182	1,005	1,816	694	374	326	250	44	418	801	7,359
	27年度	15	17	11	14	39	15	9	6	6	18	8	13	171
		500	255	243	550	993	487	176	104	131	99	205	283	4,026
		967	510	408	1,064	1,702	834	319	168	262	188	410	482	7,314
合計	28年度	35	34	24	34	62	23	16	15	10	8	9	38	308
		986	1,992	922	1,059	1,771	621	415	452	297	190	237	1,197	10,139
		1,868	3,809	1,695	1,876	2,998	1,162	830	816	558	376	474	2,026	18,488
	27年度	21	35	24	23	61	22	17	13	11	21	10	25	283
		885	1,635	868	1,174	1,977	824	571	303	285	303	231	961	10,017
		1,737	3,202	1,550	2,098	3,433	1,403	1,028	566	570	596	462	1,583	18,228

上段:団体数 下段:利用者数

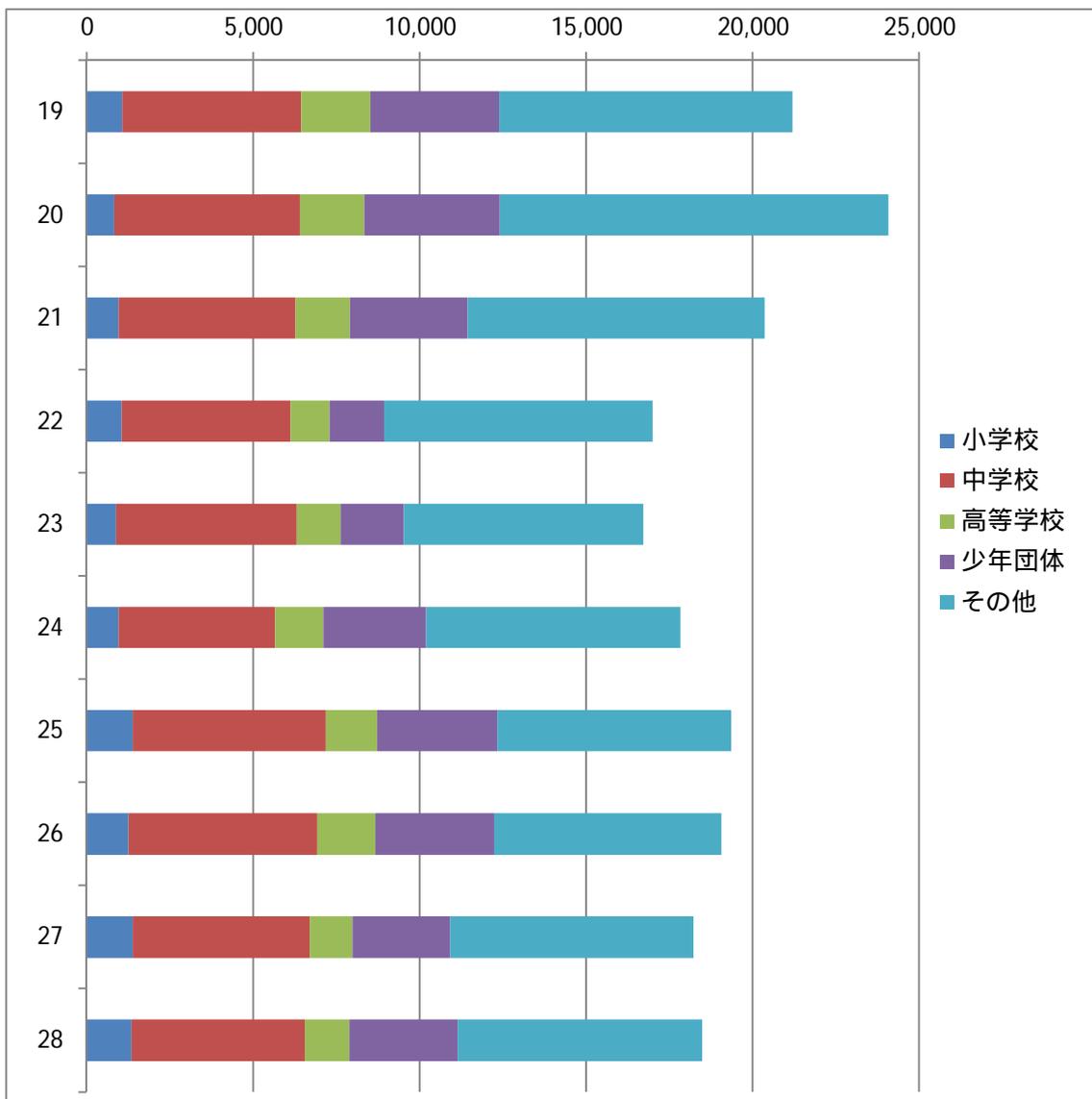
日帰り利用	28年度	41	22	16	22	8	15	9	8	4	10	14	10	179
		136	51	63	90	40	121	127	232	58	194	125	49	1,286
	27年度	24	18	18	18	15	6	9	10	6	16	15	8	163
		73	47	134	173	83	112	359	172	65	142	166	64	1,590

延利用者数	28年度	76	56	40	56	70	38	25	23	14	18	23	48	487
		2,004	3,860	1,758	1,966	3,038	1,283	957	1,048	616	570	599	2,075	19,774
	27年度	45	53	42	41	76	28	26	23	17	37	25	33	446
		1,810	3,249	1,684	2,271	3,516	1,515	1,387	738	635	738	628	1,647	19,818

開所日	28年度	27	31	30	28	31	25	26	24	24	24	22	29	321
宿泊可能日	28年度	26	31	30	27	31	20	21	20	19	20	18	27	290

## 年度別利用状況

年度		小学校	中学校	高等学校	少年団体	その他	計
H	19	1,070	5,369	2,070	3,871	8,815	21,195
H	20	826	5,580	1,927	4,069	11,674	24,076
H	21	942	5,318	1,642	3,531	8,929	20,362
H	22	1,046	5,070	1,182	1,619	8,068	16,985
H	23	880	5,431	1,317	1,884	7,205	16,717
H	24	952	4,706	1,442	3,082	7,655	17,837
H	25	1,371	5,802	1,548	3,609	7,033	19,363
H	26	1,240	5,675	1,752	3,575	6,823	19,065
H	27	1,370	5,323	1,283	2,938	7,314	18,228
H	28	1,339	5,198	1,347	3,245	7,359	18,488
合計		11,036	53,472	15,510	31,423	80,875	192,316



平成28年度稼働率

施設名 愛宕山少年自然の家

月	宿泊可能日	利用人員（ベッド数）			宿泊部屋数		
		最大操業度 （人数）	利用人員	稼働率 %	最大操業度 （宿泊部屋数）	宿泊部屋数	稼働率 %
4月	26	4,030	986	24.47%	416	162	38.94%
5月	31	4,805	1,992	41.46%	496	316	63.71%
6月	30	4,650	922	19.83%	480	200	41.67%
7月	27	4,185	1,059	25.30%	432	211	48.84%
8月	31	4,805	1,771	36.86%	496	343	69.15%
9月	22	3,410	621	18.21%	352	129	36.65%
10月	21	3,255	415	12.75%	336	94	27.98%
11月	18	2,790	452	16.20%	288	93	32.29%
12月	19	2,945	297	10.08%	304	61	20.07%
1月	20	3,100	190	6.13%	320	41	12.81%
2月	18	2,790	237	8.49%	288	39	13.54%
3月	27	4,185	1,197	28.60%	432	209	48.38%
計	290	44,950	10,139	22.56%	4,640	1,898	40.91%

利用人員稼働率 = 利用人数 ÷ 最大受入可能人数（宿泊可能日 × 寝台数） × 100

利用部屋稼働率 = 利用部屋数 ÷ 最大受入可能部屋数（宿泊可能日 × 部屋数） × 100

平成28年度稼働率

施設名 八ヶ岳少年自然の家

月	宿泊可能日	利用人員 (ベッド数)			宿泊部屋数		
		最大操業度 (人数)	利用人員	稼働率 %	最大操業度 (宿泊部屋数)	宿泊部屋数	稼働率 %
4月	22	4,620	739	16.00%	572	142	24.83%
5月	31	6,510	2,947	45.27%	806	516	64.02%
6月	30	6,300	3,241	51.44%	780	546	70.00%
7月	31	6,510	2,920	44.85%	806	552	68.49%
8月	31	6,510	3,080	47.31%	806	606	75.19%
9月	20	4,200	869	20.69%	520	194	37.31%
10月	20	4,200	1,039	24.74%	520	230	44.23%
11月	19	3,990	294	7.37%	494	56	11.34%
12月	19	3,990	119	2.98%	494	35	7.09%
1月	19	3,990	405	10.15%	494	110	22.27%
2月	20	4,200	350	8.33%	520	79	15.19%
3月	25	5,250	865	16.48%	650	180	27.69%
計	287	60,270	16,868	27.99%	7,462	3,246	43.50%

※利用人員稼働率=利用人数÷最大受入可能人数(宿泊可能日×寝台数)×100

※利用部屋稼働率=利用部屋数÷最大受入可能部屋数(宿泊可能日×部屋数)×100

平成28年度稼働率

施設名 ゆずりはら青少年自然の里

(一般棟)

月	宿泊可能日	利用人員 (ベッド数)			利用棟数		
		最大操業度 (人数)	利用人員	稼働率%	最大操業度 (宿泊棟数)	利用棟数	稼働率
4月	27	2,106	367	17.43%	81	21	25.93%
5月	27	2,106	987	46.87%	81	34	41.98%
6月	26	2,028	732	36.09%	78	22	28.21%
7月	30	2,340	1,469	62.78%	90	47	52.22%
8月	30	2,340	2,106	90.00%	90	67	74.44%
9月	25	1,950	415	21.28%	75	13	17.33%
10月	27	2,106	672	31.91%	81	22	27.16%
11月	22	1,716	180	10.49%	66	12	18.18%
12月	19	1,482	0	0.00%	57	0	0.00%
1月	19	1,482	88	5.94%	57	4	7.02%
2月	23	1,794	168	9.36%	69	5	7.25%
3月	27	2,106	613	29.11%	81	18	22.22%
計	302	23,556	7,797	30.10%	906	265	26.83%

(家族棟)

月	宿泊可能日	利用人員 (ベッド数)			利用棟数		
		最大操業度 (人数)	利用人員	稼働率%	最大操業度 (棟数)	利用棟数	稼働率
4月	27	432	76	17.59%	108	28	25.93%
5月	27	432	84	19.44%	108	32	29.63%
6月	26	416	48	11.54%	104	17	16.35%
7月	30	480	156	32.50%	120	44	36.67%
8月	30	480	223	46.46%	120	60	50.00%
9月	25	400	38	9.50%	100	11	11.00%
10月	27	432	54	12.50%	108	14	12.96%
11月	22	352	8	2.27%	88	6	6.82%
12月	19	304	0	0.00%	76	0	0.00%
1月	19	304	14	4.61%	76	3	3.95%
2月	23	368	0	0.00%	92	0	0.00%
3月	27	432	99	22.92%	108	20	18.52%
計	302	4,832	800	16.56%	1,208	235	17.65%

\*利用人員稼働率=利用人数÷最大受入可能人数(宿泊可能日×定員)×100

\*利用棟の稼働率=利用棟数÷最大受入可能棟数(宿泊可能日×棟数)×100